

ひかり 市議会だより

令和4年
11月25日発行
17号

発行／光市議会

光市中央六丁目1番1号光市議会事務局

TEL／0833-72-1611

mail : gikai@city.hikari.lg.jp



光市議会では委員会の委員の任期が2年になっておりますので、今回は2年間の主な活動内容を掲載しております。



市議会モニターとは何ぞや！ このままでいいのか！

10月14日(金)に本会議場で市議会モニターとの意見交換会を開催し、6名の市議会モニターさんの内、5名の方が参加されました。

最初に、河野俊雄さんより「議会運営について」をテーマにご提言をいただきました。冒頭、マスクをした状態での発言では聞き取りにくかったため、マスクを外しての発言をお願いしたところ、待ってましたとばかりに、本会議や委員会でのやり取りの中での発言がまさに聞き取りにくい、参考資料が分厚く内容がわからないままページをめくる間に次に進行してしまう、本会議場の記者席は参考資料を広げやすいので席が空いていればモニターに利用させていただけないか、と上手に話を進められました。また、現在、委員会の傍聴は別室での傍聴となっており、発言者の顔が見えないので、狭いのなら本会議場で開催できないのか。何故、4年前からの提案が解決できないのか等のご意見をいただきました。

自由な意見交換のコーナーでも、多くの意見をいただきました。モニターは議員が議会の情報を市民に周知するのを手助けする役目を担っており、議会情報を

より正しく把握する必要がある。議会運営をよりよくするため何事にも前向きに挑戦していくことが必要で、「目配り」「気配り」「心配り」相手を思いやり何をしたら喜ぶのか、相手に寄り添い行動することが大事。

その他にも、台風14号が襲来した時に高齢者避難情報が出たが、避難所が遠く高齢者は避難できないので、近くに開設してほしい。带状疱疹のワクチンが高いので補助制度をお願いしたい。伊藤公の近くにある北緯34度00分、東経132度00分の「ゼロ交点」を活用してはどうか。政務活動費の資料購入費で、一部会派の新聞代が多額ではないか。議会は平日開催のため傍聴しづらいので、委員会も録画中継で後から確認できるようにしてほしい。ゴミ処理の問題で、お年寄りに優しい簡易な方法の検討をお願いしたい等、様々な意見・提言をいただきました。

ご参加いただきました市議会モニターの皆様、ありがとうございました。

常任委員会の名称の変更についてお知らせ

令和4年11月1日から、所管の変更に伴い、総務市民文教委員会を総務教育環境委員会に、環境福祉経済委員会を福祉建設経済委員会に改めることとなりました。

総務市民文教委員会



総務市民文教委員会では、今期に取り組む年間テーマとして『行財政改革』と『小中一貫教育とG I G Aスクール構想』の2つを設定し、委員を2つのチームに分けてそれぞれ調査・研究を行いました。その成果を基に委員会の中での協議や執行部への質疑等を行った結果は、以下のとおりです。

『行財政改革』について

令和2年12月、総務省が「自治体DX推進計画」を策定し、地方自治体でもデジタル化が進められています。また、新型コロナウイルスの影響により、市民を取り巻くデジタル環境が急速に変化している中で、「住民手続きのデジタル化」「職員環境のデジタル化」「地域間連携などのデジタル化」を柱として、自治体DXが推進されています。

そのため、当委員会において、市民の行政サービスの利便性向上やデジタル・デバイト（情報弱者）問題の改善に向けて調査・研究をおこなった結果、4つの課題が浮き彫りとなりました。1点目は地域のデジタル環境整備の遅延、2点目は自治体における各種手続きの煩雑化、3点目はデジタル・デバイト問題、4点目は地域のコミュニティの希薄化です。

こうした状況を受けて、一般質問や常任委員会での質疑等において各種施策の進捗確認や課題提起等を行った結果、令和4年度より情報受発信ツールの導入事業、行政手続オンライン化事業、デジタル化人材活用事業、スマホ購入支援事業の新たな事業がスタートしました。

『小中一貫教育とG I G Aスクール構想』について

文部科学省が児童生徒1人に1台のパソコン・タブレットを整備する「G I G Aスクール構想」を示し、光市においても全児童生徒がタブレットを使用できるよう整備を行いました。当委員会では、Wi-Fi方式と比べて光市が採用するLTE方式の優位性の確認や、コロナ禍における家庭学習での活用に向けた自宅の通信環境について確認等を行うとともに、タブレットを活用した学習の充実、誰一人取り残さない対応について求めました。

小中一貫教育については、平成30年3月に策定した「光市立学校の将来のあり方に係る基本構想」に基づき、令和2年度から各中学校区ごとに小中一貫教育がスタートしましたが、当委員会では、令和3年3月に策定された「光市学校施設長寿命化計画」を基に、中学校区ごとの将来の児童生徒数の推計や長寿命化における必要予算の積算等について調査・研究を行いました。本年3月には、「施設一体型小中一貫ひかり学園の新設に係る方針」が策定され、今後約20年間で5中学校区を3期に分けて整備を行う方針が示されました。現在、第1期の「やまと学園（大和中学校区）」の整備に向けて動き出しており、本年7月と8月にやまと学園の4小学校で地域説明会が開催されました。

環境福祉経済委員会



環境福祉経済委員会では、今期に取り組むテーマとして『新型コロナウイルス』と『子ども子育て』の2つを設定し、調査・研究を行いました。また、『新型コロナウイルス』に関する議論の中で、市内の中小企業や小規模企業に対する支援体制を整備すべきとして、『中小企業・小規模企業振興条例』の制定を目指し、取り組みました。

『新型コロナウイルス』について

令和2年1月に国内初の感染者が確認されて以来、猛威を振るう新型コロナウイルスによる社会・経済の変化に、市民生活は大きく影響を受けてきました。本市においても、ワクチン接種などの感染予防対策、生活困窮者や事業者への支援策が講じられてきました。

委員会テーマとして取り上げて以来、国や県の動向、他自治体の取り組み状況を随時調査するとともに、市内経済団体に対し聞き取りを行いました。光市として必要な施策について議員間討議を重ねてきました。

令和3年11月には市議会から市長に対し「新型コロナウイルス感染症に係る要望」を提出しました。当委員会の所管内容としては、次の4点を要望しました。

- ①中小企業の事業継続支援、
- ②商店会や事業組合の活動継続支援、
- ③生活困窮者に対する支援と公共料金の減免、
- ④第6波の感染症拡大を想定した医療体制の整備

『中小企業・小規模企業振興基本条例』について

新型コロナウイルス感染症により、影響を受ける市民や事業者への支援の検討を重ねる中、委員より多大な影響を受けている中小企業及び小規模企業の振興を目的とする条例制定の提案があり、令和3年6月、協議の結果、委員会総意のもと市議会による条例制定に向け取り組むことを確認しました。以降、委員会協議会を断続的に開催し、中小企業振興基本条例の先行事例の調査・研究を行い、ワーキングチームによる条例案を数度提示し、協議を重ねてきました。

しかしながら合意には至らず、今任期内の上程は困難であることを確認し、制定作業を終了することとなりました。



光市立光総合病院



条例案事例検討

広報広聴特別委員会

令和3年6月30日、多様な広報手段の調査や市民が議会や市政に関心を持つよう広報広聴活動の推進及び充実を図ることを目的とし、広報広聴特別委員会が設置され8名の委員についても決定されました。その後の活動内容について報告させていただきます。

『市議会モニター制度の運営』について

令和3年度のモニターは10名（新規5名）でスタートし、9月議会中の意見交換会については、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ中止としましたが、同年12月にモニター研修会及び意見交換会、令和4年3月に意見交換会を開催しました。

令和4年度のモニターは6名（新規1名）で、5月に委嘱状交付式及び研修会、6月と10月に意見交換会を実施しました。意見交換等で提出された意見・提言とその回答については、市議会ホームページに公開しています。

『市議会報告会』『高校生との意見交換会』について

令和3年度の市議会報告会は新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、実施しませんでした。高校生との意見交換会は令和4年1月29日(土)に開催する予定で、各高校にもお願いをしておりましたが、こちらも新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、実施しないこととしました。

また、令和4年度の市議会報告会は8月30日、31日に市内4つのコミュニティセンターにおいて開催する予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルスの急速な感染拡大に鑑み、急遽、中止としました。

『議会広報紙の発行』について

令和4年5月25日、14年ぶりに「ひかり市議会だより」15号を再発行することができました。A3一枚としたため紙面に制限があり、内容を簡潔にする必要があることから、詳細についてはQRコードにより市議会ホームページに誘導する方法を基本として作成しました。

また、同年8月25日には16号も発行しました。年4回の発行を予定しており、紙面の充実や拡大等、今後もしっかりと議論を行ってまいりたいと考えております。



『その他の取り組み』について

現在、本市議会においては、YouTubeでひかり市議会チャンネルを立ち上げ、一般質問のみ録画配信を行っています。

それに続く本市議会の情報公開の手段として、『委員会の動画配信』を検討しており、令和4年9月議会では試行的に各委員会の録画を行いました。これについても、今後の委員会において引き続き検討してまいります。

9月議会の議決結果



【全会一致で可決】

- 令和4年度光市一般会計補正予算(第4号)(第5号)
- 令和4年度光市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度光市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度光市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 光市行政手続等における情報通信技術の利用に関する条例
- 光市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 光市職員退職手当条例の一部を改正する条例
- 光市子ども・子育て審議会条例の一部を改正する条例
- 令和3年度光市水道事業未処分利益剰余金の処分について
- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 光市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 光市教育委員会委員の任命について
- 光市教育委員会教育長の任命について
- 光市防災指令拠点施設建設工事（建築主体工事）請負契約の締結について
- 光市防災指令拠点施設建設工事（電気設備工事）請負契約の締結について
- 光市議会委員会条例の一部を改正する条例について

※前年度の決算の議決結果は裏面に記載しています。

9月議会の一般質問



9月議会における、各議員の一般質問の主な項目を一つずつ選んで掲載しています。詳細については、光市議会ホームページからご覧ください。

早稲田 真弓	光市民の安全・安心を守る活動について
仲小路 悦男	地域貢献・社会貢献を学ぶ教育について
田中 陽三	市川市政の折り返しをむかえて展望を問う
笹井 琢	コロナ禍中・コロナ後の市民活動
大田 敏司	市政に対する市民の思いについて
小林 隆司	人生100年時代を見据えた健康増進のさらなる推進について
田邊 学	「新斎場」に係る今後の方向性について構成市としての光市の考えを聞く
仲山 哲男	いざという時、使えますか？AED
中村 譲	行財政構造改革推進プランについて
西崎 孝一	光市漁港管理条例の改正について
森戸 芳史	田園に光を、明るい農村を目指して
西村 慎太郎	防災・減災による安心安全な市民生活を

9月議会の議決結果（前年度の決算を認定）

■各議案に対する議員の賛否状況 ○は賛成 ×は反対 △は退席 欠は欠席です。中本議長は採決に加わりません。



議案名など	議員氏名など	結果	大田敏司	河村龍男	木村信秀	小林隆司	笹井琢	田中陽三	田邊学	仲小路悦男	中村謙	仲山哲男	西崎孝一	西村慎太郎	林節子	萬谷竹彦	森戸芳史	早稲田真弓
認定第1号	令和3年度光市水道事業決算について	認定							全	会	一	致						
認定第2号	令和3年度光市病院事業決算について	認定							全	会	一	致						
認定第3号	令和3年度光市介護老人保健施設事業決算について	認定							全	会	一	致						
認定第4号	令和3年度光市下水道事業決算について	認定							全	会	一	致						
追加認定第5号	令和3年度光市一般会計歳入歳出決算について	認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
追加認定第6号	令和3年度光市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
追加認定第7号	令和3年度光市介護保険特別会計歳入歳出決算について	認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
追加認定第8号	令和3年度光市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について	認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○

12月議会予定

YouTube ▶



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6 本会議 (初日)	7	8 一般 質問	9 一般 質問	10
11	12 一般 質問	13 一般 質問	14	15 福祉 委員会	16 福祉 委員会	17
18	19 総務 委員会	20 総務 委員会	21	22	23 本会議 (最終)	24

- 予定は、11月7日開催の議会運営委員会で提案されたものを掲載しており、日程は変更となる場合があります。
- 福祉建設経済委員会は福祉委員会、総務教育環境委員会は総務委員会と表記しています。
- 一般質問は、ケーブルテレビによる放送（当日は19時から、翌日は8時から）やYouTube配信（おおむね1週間後から）によりご覧いただくことができます。また、本会議や委員会はどなたでも傍聴することができます。
- ひかり市議会チャンネル（YouTube）は、上記のQRコードからアクセスできます。

編集後記

この「ひかり市議会だより」を作成するにあたり、広報広聴特別委員会では記事の基本的なコンテンツを決め、記事の担当を割り振りし手分けをして作業に取り掛かります。各担当は膨大な情報の中から、市民の皆様へ「どうやったら市政に興味をもってもらえるか」、「どう書いたら伝わるのか」を試行錯誤しながら記事を書いています。詳細は、QRコードから確認いただき、紙面はシンプルに、わかりやすい記事となるように、そして、より皆様の手に取ってもらえる議会広報紙となるように趣向を凝らしてまいります。本紙についてのご意見・ご感想をよろしく願います。

(慎)

広報広聴特別委員会
委員長 萬谷竹彦
副委員長 仲小路悦男
委員 河村龍男
// 小林隆司
// 仲山哲男
// 西崎孝一
// 西村慎太郎
// 早稲田真弓

ひかり市議会だよりに関するアンケートにご協力をお願いします。

←市議会ホームページより回答

アンケートフォームより回答→

